(明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可) (日刊) 月曜及祭日の翌日休刊 明治四十二年十月廿一日 (木曜日) 第二百四十四號 (一)

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●我社の觀楓會　社末生

十月十七日第三日曜日を期して本社の秋季運動會を兼て觀楓會を城外洗劍亭に於て催すとの布告があつた、怠うこなくてはならぬ答だ。僕は土曜日の晩は翌日の愉快を夢みて夜の明けるのが待遠い樣な氣がして安き眠に就いた、時に猶豫はない夜の帳が落ちた午前六時起床、天なるかな命なる哉！秋晴れて一天拭ふた如く晴快極なく幸先がいゝ、十時社に來て見れば本日の幹事に當つた營業部には己に先發して人影がない樓上編輯室では同人數名が福引景品に就て鳩首凝議最中だ、其内第二軍も發足した、僕等は殿軍となつて正に十一時出發した

△亡國の舊都● 道を光化門通に取つて舊王城前に出た、王城には日曜で參觀者が堵をなして蝟集してゐる、正門に突當りて左に折れ右に廻りて長壁に沿ふて行く、韓兵が劍の先に國旗を附けて嚴めしく門衞してゐるのはまたなく物々しい、例のヨボが擔荷を路邊に投げ捨てゝ長壁により凭りてさも眠むたげに長煙管を燻らしてゐる處を人若し亡國の舊都を畫くならば背景としては注文通りに出來てゐる

△函谷關の聯想● 長壁の一方山に盡くる處から甚しく勾配になり峠を越ゆるのだ頂は北門――所謂彰義門で茲に北部警察署の巡査派出所の設けあつて査公が怪しき者も通らば誰何搦め捕らむず氣勢を示して立番をしてゐるのには行人をしてそゞろ函谷關を聯想せしむ、今の世鷄鳴狗盜者流の必要は認めないが奇骨稜々たる任俠孟嘗君の再來を望むや切なりだ

△城外の仙境● 北門を下だれば白岳山下造紙署契に抵る幽谷あり、潺湲淙々として銀砂鮮かに流れ落葉空しく地に委して山腹の楓葉は艶紅を彩り老婆は愛採を誘ひて栗拾ひに餘念なく自然の崇高を擅にして婦人の洗濯しながら民謠を唄ひ水砧の音に和して面白いが聞く人をして俗塵を離めし現代から離脱せし觀あらしむ

△洗劍亭上の無禮講● 先發幹事の肝煎りにて會場は洗劍亭に決つた、僕等殿軍一行の到着せし頃は已に萬端の準備全く整ひて社員同人無慮五十餘人は今日を晴れと自銘自稱の盛裝をなし殿軍の到着を今や遲しと鶴首待受けて居た

△木に依て肉を求む● 席定まるや社長に換りて柳江氏の簡單にして且要領を得たる開會の辭わつてもう後は鯨飲馬食も勝手次第で紅裙隊ならぬ幹事は臀を高く捲り上げて酒間を頗る斡けて興盡くるを知らず果ては醉の廻るに從ひ自分免許の獨々逸あり詩吟ありて肉飛び飯舞ひ木に依て魚ならぬ肉を求むるの奇觀を呈したり

△福引の餘興● 當日最も愉快なりしは福引の催して恰かも寅關なる頭開始せしが中にも「新聞屋の廣告取り」が押が強いからとて澤庵の重石下賜ありしは惡謔も斯うまで濟ぎ着くれば何だか侮辱された樣で氣味が惡くなる、次が「秋の形容詞」とて馬肥ゆるたから支那饅頭を味く食わどは近頃苦しい洒落で●難有迷惑の至りだ就中最も振つたのは日本●の殖民地で朝鮮なれば雜誌朝鮮號にしたのは思ひ付が頗る奇拔だ。

△義州街道豚鳴く● 僕は歸途社長に扈從して禿山の間を縫ふて義州街道に出た農家では收穫時で目の廻る樣に活動して居る道側の茅屋から豚の豚らしい鳴聲がする社長は街道に出るや直ちに車上の人となつて砂烟を立てゝ消ゑた。

△紅葉列車● 僕は一人になつたから緩くり京城中學校の奇なる建築を觀て獨立門を無意味に拔けて漫然に西大門停車場に馳付けた午後四時三十五分の列車が發車する處だ●わたふた飛乘して一隅に座を占め車中の乘客を物色すれば皆申し合せた樣に今日の日曜を利用して郊外散策をした證據には紅葉を二三枝持つて居ない者はない、龍山驛で降りて歸宅、入浴して晩餐を了し直ちに寢に就いた時に正に六時。

兎に角僕に取つては豫期以上の愉快の日だつた、同人間にも又之れに異議はなからう

文苑

偶成　芳雨

秋光如畫碧深隈、停杖設筵共舉杯
休說前山莫楓葉、醉顏紅色亦奇哉

同

深入寒山人迹稀、探奇未得夕陽微
偶看雅客携輕杖、一擔丹楓衣錦歸

觀楓

吟杖輕裝互占先、一樽共酌碧川前
寒山勝景君知否、恰是櫻桃二月天



第十三席　伯山改　神田松鯉口演

之を聞いた忠國は眉を顰め 忠「彼猿靈場に走り入るといへども、既に人を殺せし上は敢て恕すべきでない、然し勅封の佛舍利を納めたる寶塔に對ひて矢を發さん事、後難測り難し、コハ何んと致さんか」と愁ひ悶ゆる容体に、爲朝も其用意忽地躊躇致して舊の所へ退き給へば、猿は再び勢ほひ附きて指し恥かしむる事以前にも過ぎ最ど憎き彼が擧動に、忠國は益々憤りに堪へず爲朝も心の中深く望みを失ない 爲「猿を射留んは最と易すけれど、事かなはねば詮方なし、若し彼の八丁礫の紀平治でも居るなれば、弓矢を用ひずして打落す事難きにあらねど、國を隔てゝそれも叶はず」と右や左く思ひ苦しみ居られました、然るに此時彼の鶴艦の中にて俄かに羽ばたきして頻々飛出んさする氣色なれば、爲朝は之を御覽とて再び覺りたまひ、胸の中に 爲「此鶴が夢に告げし阿蘇宮の邊にて放てよと言ひつるは今日の事にてありつらん然れば深く疑ふべきにあらず」と心ろに問ひ胸に答へて重ねて忠國に向ひ 爲「某弓矢を用ひずして猿を打落し進らすべし」と宣へば、忠國は斜めならず歡喜び 忠「既に仰せの如くなれば幸ひ之にますことなし、疾く〳〵用意致されよ」と聞て爲朝は心中に祈念を凝し籠の戸を開き、豫て此所にて放さんと思召したれば足には、砦の如くに金の牌を着けて放しました、鶴は籠を出がいなや虛空遙かに舞翔りまして、往方も知れずなりましたので忠國主從は勿論之を見る者冷笑ひまして 從「這は嗚呼なる愚者もあるものかな驚態鷹なんぞならば猿をも捉るが、鶴の獸物を捉るといふ事を聞いた事もなし夫故何れへか知らぬ顔して飛んで失せたのであらう」と嘲つと笑ひました、爲朝は此の爲体に再び疑念を生じまして、只空を打眺めて在しましたが、暫くすると彼の鶴は西の方より舞來つて塔の火珠を放るゝ事一丈ばかりなる所を去らず飛び居ります又猿は打仰ぎて暖きもせず、近く寄らば搔き劍んとする氣色であります、鶴は高く舞ひ、低く翔て其の間距近くなる時何ごかしたりけん、猿は大いに慌て忙めき塔上を走り下りんと致す所を、鶴は颯て下し來て觜をもつて丁と突きたる樣に見へましたが、忽ち猿は眞逆さまに攫と許り此地に落ち、血に染つて死にましたが、鶴は高く舞上りまして南を指して飛去りました、之を見たる者驚を揚げて感じ暫は鳴も止まざる程でありました忠國は歡喜に堪へずして、爲朝と共に彼猿を見ますに、背より胸先へ強く貫ぬかれて殊に目鼻の間に夥たゝしく砂が掛つてありますゆゑ、忠國は思はず横手を拍つて 忠「扨ては彼鶴が最初何所ともなく飛ゆきしは此の砂を猪み來て、猿の眼つふしになさんがためなりしが、飛禽といへども事に臨んで能く剛敵を取挫ぐ、それ故猿めが周章て走り下りんとせし所を疾くも衝き突めたる其の智量り知るべからず、嗚呼奇なるかな」と頻りに感賞して、爲朝に對ひ禮儀を正し 忠「そも御身は如何なる人なれば斯く某が仇を亡し給ひたるか、必らず名ある武士にてこそ在すらめ、今日の事イト不思議に存じ申す」と問れて御曹司は笑みを含まれ 爲「拙者の姓名など名乘る程のものにはなけれども、包み匿くすわけにも參らねば申すべし、拙者は源爲義の伜八郎爲朝と申す者父の不興を蒙りて豐後國に流浪致し居り候が、彼の鶴は我が曾祖八幡太郎義家が放ちし千羽鶴のうちにて、計らずも拙者の手に入りしものにて候、何は兎もあれ惡むべき彼の猿を退治し、御貴殿の望みを叶へしてと何より悦ばしく存ずる」と申されますれば忠國は大に驚き且悦びまして 忠「コハ思ひ掛けなき御方に御目通り致し候、源家の御曹司とは知らずして先刻より御無禮申上げ候段幾重にも御詫仕る、某不才なりと雖ホ弓矢取る身の冥加には御曹司の如き御方を娘白縫の配とも致しなば、家の面目此上やあらん、若し嫌らひ給はずば我が家に來り給はんこと望ましう存ずる」と赤誠を披瀝いて申しますれば 爲「コハ拙者よりも願ふ所、親兄弟に遠ざかりて、頼りなき身の上なれば、宜しく頼むでござる」と申されましたので、忠國も大に悅び阿蘇の家來一同も皆萬歳を祝します。



京城新報

東京經濟協會に於ける 峯岸本社長の演說（三）

政治的施設　殖民政策を遂行するには韓國に於ける政治的施設は伊藤前統監の盡力によつて曲りなりにも稍形丈は出來た次第なれば之より一歩を進め内容へ整へば其先は白とか黒とか極めたい樣に考へるのである。而して私の如きは是非一日も早く白と極めて在留邦人と韓人とに基著を知らしめ安心させたいのである。

經濟的施設　政治的施設の進歩したると同時に經濟的施設も進むべきは理の當然であるが實際は中々一云節には行かぬ實例によつて云へば今日迄の處は政治的施設の爲に經濟的施設は閑却せられ又犠牲にせられて居る次第である、而れども如何に吾人が考へても徒らに政治的施設のみを爲して經濟的施設を爲さゞるに於ては我帝國政府が算盤の上に於て引合ぬのみならず在留日本人も韓人も保護政治を謳歌せぬのである、茲に到て曾禰統監は就職以來其施設に産業獎勵を標榜して居るが自分は日尚淺きを以て何等取留めて話する程のものは出來て居らぬ、併し曾禰統監が是非共一大施設をせんと企畫して居るから近き將來に於て必ず統監の産業政策が實施せらるゝと思ふ、世人動もすれば韓半島の貧乏を云ふがソレは所謂皮相者流の言である、半島の産業狀態を一變し富の增殖を見るや蓋し思半ばに過るであらう、要するに半島内に金剛石鑛山を發見せんとするも不可能であるが、而も相當の資本と努力とを用ふれば産業の發達富の增殖必ず大に見るべきものあるは疑ないのである。

東洋拓殖會社　前統監が政治的施設に没頭せられし時に於て國民は對韓經濟的の發展を希望して居た、而して其實行を遂行せんとするものが東洋拓殖會社である、東洋拓殖會社は云はゞ前統監に向つて經濟的施設を爲さんことを要求したために起つた催促の聲であるのである。

移住民　御承知の通り會社は其創設の前に於ては何れも能く此機關に仍て百萬の我が移住民を十ヶ年間に半島へ移殖せらるべく政府當局も一般國民も信じたのである、而して同會社設立後は創立前と違ひ健忘性なる我當局も國民も其存在をさへ忘れんとして居るのである、今や我民は南洋に於て北米に於て歡迎せられないのである、而も南米に於ては一葉の開きが如くなるも已にブラジルに於ては全然失敗に了つて居るのである、斯る次第なれば今後我移民の放出地は滿韓の外はないのである。

然るに滿洲の方は未だ韓半島に向つて我移民は思ふ樣に延びて居らぬのである東洋拓殖會社が百萬の移民を十ヶ年間に半島に移殖すべしと期したる事は中々實現されソウにも無いのである、國家が一ヶ年三十萬圓ッゝ補助金を與へて半島移民事業の大任を命じたる東洋拓殖會社は之を云ふ著しきことを爲すとも無く果して世人より忘られんとしつゝあるのである。

東京電報

▲大演習の開始期　來十一月五日より擧行の陸軍大演習は英國キッチナー元帥が愈十一月入京と確定したるより期日を一日延期して十一月六日より開始すると決定したり（同上）

▲司令長官罹病　佐世保近海演習中の片岡司令長官以下參謀長、同次長、艦隊參謀、副官は不良食物の爲め赤痢病に罹り目下治療中なり（同上）

▲工場法案の提出　永年の宿題たりし工場法案は愈々來期議會に提出せん計畫にて内務省と農商務省との間に種々協議中なりと同法案は全文四百余條より成る最も浩瀚なる法典にして其三分の一は衛生に關する事項なりと（十九日）

▲減租と議會解散　戰時增税問題は今期議會に現はるべき主要問題にして政府は絶對に輕減に反對なれば議會にして強いて爭ふには解散も辭せざるの決心なるべからずと（同）

▲觀戰元帥の殊遇　英國陸軍を代表して來朝すべきキッチナル將軍は十一月二日入京直に宮内省に公報わかり同日英國大使同伴陛下に謁見仰付られ三日天長節御式に參列豐明殿の御宴に陪食仰付けらるべし（同上）

▲勸銀總裁の交迭　勸業銀行總裁高橋是清氏は愈々來る廿三日滿期辭職に付志村副總裁總理し十二月一日就任すべし（廿日發）

▲罹災義捐の支途　大阪罹災義捐金九十萬圓の救助分配の殘額約二十五萬圓之れに大阪市の撥出金二十五萬圓を加へ北區の燒跡に授產場及び貧民寄宿舍を設立する事に決定せり（同上）

▲勸業債券の發行　昨日締切りとなりたる第三十一回勸業債券の賣行頗る良好を收めたれば更に來月十日第三十二回勸業債券を發行するに決定（同）

▲都督廢止問題　關東都督府廢止論に就き當局者は語つて曰く將來對外政策上斯る問題の發生するは當然の勢なるが實行期は尚一二年を要すべし

▲電鐵市有の反對　都下の新聞記者通信員代議士府會議員市會議員の五團体より成る期成革新會は十九日午后四時虎の門倶樂部に會合電鐵市營問題に關し盛なる反對運動を試みる事を決議す

▲貨幣の流通總額　大藏省の調査に係る日本現在通貨額は四億四千六百五十五万七千六百四十一圓にして前年同期に比し九百十二萬余圓の增額を示す

▲皇后陛下御清遊　皇后陛下には本日午前十時御出門濱離宮に行啓あらせられ御清遊遊ばさる（同上）

▲御名代の御差遣　來る十一月十二日海軍兵學校生徒卒業式擧行に付陛下には東伏見宮依仁親王殿下を御名代として同校に御差遣の旨御沙汰ありたり（同上）

▲ラ提督以下參内　横濱に入港中の英國東洋艦隊司令長官ラムトン提督并に和蘭東印度艦隊司令長官チマデン大佐に對し一兩日中參内謁見仰付けらるゝ筈尚兩艦隊に對し特別の御優遇を賜はる筈

▲來島氏の追弔會　去る二十二年條約改正當時の外務大臣大隈伯に爆裂彈を投じたる來島恒喜氏二十年の追弔法會は昨日谷中鐵舟寺に擧行せしが百餘名の來會者あり盛會なりき（同上）

▲虎疫指定の解除　内務省にては韓國虎列拉病指定地解除に付目下詮議中

紐育電報

▲實業團機械購入　我渡米實業團の一行は鑛山用其他工業用の機械多數を購入したり（二十日東京經由）

伯林電報

▲錦齊鐵道と日本　華盛頓來電に曰く英米兩國資本家の一團が清國政府に對し關外線錦州より蒙古洮南を經て齊々哈爾に至る縱貫鐵道敷設租借權を申込みたるに對し清國政府は其交渉を日本政府に通牒したるに日本政府は此計畫に故障を申出ざるも條約上得たる權利を保護せられたき旨回答せり（十九日經由）記者曰く錦州鐵道に對しては日本政府は法庫門鐵道よりも幾層重大なる競爭線なりと思量し北京政府に或る申込を爲したりと傳へらる

北京電報

▲間島の開放區域　清國政府は十一月二日より間島の龍井村外二ケ所を開放する旨發表せり（二十日着）

雜報

●舊銅貨の大整理　舊白銅貨は愈々來る十二月末日を以て絶對通用を禁止するに決定したり而して現存額引上に關しては政府も大に考究中なりしが左の整理方針に依り該貨の一掃を期すべし

一、財務署をして納税收上に依り之が還收を爲さしむるは勿論金融機關をして極力還收に盡力せしむる事

一、財務署に面以下里、洞長を召集し舊白銅貨は本年限り通用を禁せらるゝを以て本年内に納税に之を使用するか又は買上を請ひ以て不慮の損失を蒙らざらん事を各自管内人民に諭告すべき旨を訓示し且一層此趣旨を周知せしむる方針として諭告文を作り洞里長をして民衆に配付せしむること

一、郡衙、警察署、通信管署、憲兵隊に依賴して本趣旨を周知せしむ

一、農工銀行及び地方金融組合をして客主を勸誘し千分の三の步合を與へて買上を助成せしむること

一、財務署へは豫め買上基金を交付し置事

●地方官の大淘汰　既記各道警察部長等の一大更迭は愈々事實となりて斷行せられ慶尚南道書記官田結柳三郎警視亭岐寛の兩氏は先づ其第一着手に馘られ去る十九日付を以て依願免官の名の下に發表せられたり同警視の後任には飯田京畿道警視轉任し飯田警視の後には桐原南部署長内定せり尚は成鏡北道關屋警視も近々依願免官となるべく而して今回の更迭は專ら淘汰の意味を以て斷行せるものなれば順次全道に及ぼすべしと因みに田結亭岐の兩氏は部下の失態に責を負へるものなる由

●穀類擔保の貸出　韓國本年度農作は概して平年作位の豫想なれども何分昨年來の相場下落の爲め自然農業資金缺乏の折柄とて頗りて賣急ぎを爲すの傾あり斯くては米穀價格は愈々下落するの嫌あるを以て之が匡正に付ては當局者に於ても考慮中なりしが度支部にては今回愈々穀物擔保の貸出を奬勵するに決し同部所管倉庫の貸下ある銀行は勿論其他の銀行に對しても此際固く低利且簡易なる方法を以て穀類擔保の貸出を爲し以て農業資金融通に盡力すべき樣夫々命令を發したりと云ふ

●農事改良と海外貿易　韓國の農業は未だ殆んど海外貿易に著しき功果を現はし來らずと雖も近來農業改良の策大に行はれたる結果今後輸出貿易に多大の關係を與ふるは蓋し遠きにあらざるべし即ち麥大麥の如き米豆に次ぐ重要品たるも從來大概國内にのみ消費せられ輸出捗々しからざりしも近來木浦地方に於てゴールデンメロン種の大麥を播種したるに其結果頗る良好にして産出額高く且麥酒原料として從來の大麥より遙かに高價にて買收せらるゝを以て將來輸出品として大に囑望するに値すと云ふ又棉花の如きは從來は韓人衣類用として耕作するに過ぎざりしも日本より紡績糸の輸入と共に棉花の輸出盛せられしがため此れが輸出の途開け漸次好況に向ひたるに際し先年韓政府保護の下に米國棉花の栽培木浦地方に奬勵せられたればこれ又將來大に發達の望有りと云ふ

●韓國鐵道と所屬問題　湖南京元兩鐵道布設の案件は多少其請求の年額に相違を生じたるにせよ兎に角閣議の是認する所となり曾禰統監の素志も略貫徹するの運びとなりたるが今後起るべき案件は韓國に於ける鐵道全部の所管問題にて此事に關しては今尚ほ統監府と東京政府との交渉を繼續し何時決定を見るに至らざれども曾禰統監は其所屬に重きを置かず何れに決するも異存なき由なれば結局表面鐵道院の管轄區域に置き或る條件を附して統監府の監督を受け双方協議の上鐵道政策の進行を計るに至るべしと某消息通は語れり

●度支部吏員と韓銀株　韓國銀行株募集の際度支部吏員に不正の行爲ありとて非難囂々を極めたる件は秦山鳴動して鼠一匹の如く愈々募入の結果總申込二千株に對し僅かに六株を獲得せしのみなり而して該申込は個々別々にあらずして一口に申込める爲め斯く六株を得しのみなれば孰れへ交付する事能はず不得己同部倶樂部の基本財産に編入する計畫なりと（電通）

●飯田警察部長の轉任　別項記載の如く慶尚南道内務部長及警察部長の依願免官と同時に京畿道警察部長飯田章氏慶尚南道警察部長に任せられ兼ねて内務部長處理を命ぜられ京畿道内務部長鹽川一太郎氏同道臨時警察部長處理を命ぜらる

●衛生警察事務協議會　仁川に於ける日常清潔法並びに道路整理に關し昨二十日午後一時より仁川民役所に岩崎民長、宮館警視、鳥崎各國署長、清國巡捕廳長等相會し協議する處ありたりと云ふ

●參與官會議定日變更　統監府に於ける參與官會議は毎週金曜日に開催し居りしが今週より之を改め火曜日統監邸に於ける大臣會議散會後引續ぎ開會

●鐵道の主要貨物　鐵道廳に就て四十一年中に於ける取扱貨物中一千噸以上に上りし品目數量を調査したるに左の如くなりし

品目	噸
麥	九、四三〇
雜穀	二、七五九
砂糖	三、三七一
鮮魚	四、三三三
野菜	四、四七〇
果物	二、二一〇
海草	五、三三三
酒類	五、五一七
金巾	一、二〇二
麻布	一、四四八
綿	一、七七一
陶器	三、五一四
石油	七、五二八
家具	五、〇二五
繩叺莚	一、三三〇
藥品	五、三六八
黒鉛	四八、三九
木材	三、七五四
煉瓦及瓦	一、〇〇七
竹	[illegible]
韓貨	三、〇二〇

品目	噸
大豆	二〇、五〇一
鹽	一〇、四五〇
酢醤油	二、五五七
鹽干魚	九、五五七
穀粉	一、六六五
明太魚	六、五八五
食料品	二、三三三
煙草	二、五九六
綿布	一、一五七
紡績糸	二、九三三
紙	三、二五二
燐寸	一、一二四
薪炭	一八、三一九
金物	一〇、一四七
石灰	三、〇三一
牛皮	一、〇二八
石炭	四、三三九
石材	三、九三三
建築材料	三、八九九
肥料	二、八六八
軍用品	九五三

●韓國銀行の開業期　韓國銀行は來る十一月二十日より一銀との間に引繼ぎを開始し三日間にて終了の上同二十三日より愈々營業開始を爲すべしと

●航路補助金增額出願　元山吉田秀次郎氏は韓國政府より年額一萬七千圓の補助金と同政府所有船隆熙號の貸與を受け元山釜山、釜山雄基、元山雄基、西湖江陵間の定期航路を經營し居れるが今回該航路中元山雄基間釜山雄基間を毎月三回に增航し他の航路は途次寄港と爲さんとし之が爲め補助金の增額方を出願し來れりと

●東煙會社と韓國烟草　東亞烟草株式會社は愈よ政府の補助の下に經營すべく目下其工場建設中なるが今回度支部財源調査局にて韓國產烟草の試驗場を建設せん計畫なりしが右會社と交渉の上其試驗を同會社に依賴することになりたり

●京城會議所の役員會　京城商業會議所に於ては今二十一日午後七時より役員例會を開き京元湖南兩鐵道布設に關する對議會策としての京城の態度及目下の經濟狀況に就き協議すべしと云ふ

●仁川一銀支店の廢止　第一銀行仁川支店は今次韓銀の設立と同時に廢止すべく決定したる由にて金融組合に貸附ある三十萬圓は其儘韓銀に引繼ぐ筈

●瓦斯問題の落着　既報の如く去る十八日の民會に於て修正せられたる京城民團對瓦斯會社命令案は二十日態谷民長より岡崎專務取締役へ其旨交渉を遂げたる結果同社にても今更異議を唱ふるも詮なく且つ工事停止の不利益に代へ難きを以て不得已是を承諾したれば愈々正式の命令書を調製し今明日中に交付する由

●龍山の選擧準備　來月十一日總選擧を行ふべき龍山民團議員は昨今寄々其候補者の人選中なるが一部の有志者は去る十九日午後六時より同地和歌の家に於て有志會を開き革新同志會なるものを組織し野中推弘氏を會長となし今後の選擧方針を協議したりと因に野中氏は今回の選擧には斷然候補たるを辭退したりと云

●龍山校の御影奉戴式　新築龍山小學校に於ては來る十一月一日御影奉戴式並に開校式を擧行すべしと云ふ

●龍山防疫事務所閉鎖　龍山民團及び警察署の設立に係る防疫事務所は各區域共全部昨二十日限り閉鎖したり

●度支部大運動會　度支部にては來る二十三日正午より奬忠壇に於て秋季大運動會を開催する由にて當日は各種の運動及餘興の催しあり且つ模擬店を開き家族の携帶をも許す筈なれば非常の盛會なるべしと

●統監邸の晩餐會　曾禰統監夫人照子近く歸京するを以て明二十一日午後六時より參與官以下統監府及び所屬官廳の高等官同夫人連を統監邸に招待し留別宴を開く由一昨十九日夫れ〳〵案内狀を發したりと

●李總理統監訪問　李總理大臣は去る十九日午前十一時曾禰統監を其官邸に訪問して何事か協議する所ありたりと云ふ

近事片々

●仁川理事廳夜會　仁川理事官信夫淳平氏は來月三日の天長節をトし例年の如く内外人を招きて盛大なる夜會を催ふさるべし

●佐々木氏の退京　豫て公務を帶び滯京中の全州財務監督局長の氏は十九日釜山へ

●木村一銀支配人　韓國銀行理事に内定の同氏は去る十九日統監府を訪問したり

●廣田囑託の出張　統監府廣田學務囑托は一昨日下仁し小學校の視察を爲す筈なり

●宮館警視の出張　仁川署長宮館警視は一昨日公務の爲め水原に赴き即日歸任せり

●西頭鳥致院總代　鳥致院居留民總代西頭兼吉氏は不知火へ投宿中の處十九日退京

●谷口煉炭會社長　十九日釜山へ出發す

●田村辨護士入京　十九日入京浦尾投宿

▲米價　益々低落前途十圓以内に蹴込まん形勢也と愈以て輸出奬勵の方法なかる可らず

▲歐洲　輸出に就て何とか適宜の奬勵法なきか將來の爲にも此問題は最も必須の事也

▲歐羅　巴及南洋の穀物市場に常に韓國の存するに至らしめば其需用は順に增加せむ

▲輸出　税を廢する事を困難とせば歐洲輸出に限り何とか特殊の方法を講ずるを要す

▲對韓　經濟と云ひ保護政治の普及と云ふも先づ今日は韓國の經濟問題の解決にある

▲曾禰　統監の歡迎せられしは其產業政策を期待したるが爲希くは其期待に背馳すな

▲望む　所は統監の根本的解決の勇斷也之を斷行せば枝葉は刄を迎へて解くが如けむ

▲統監　府多士濟々たるも適材乏しとは何人も言ふ所異に家貧にして良妻を思ふ感有

▲大將　の方針政策を活躍さする底の人物は何處にも必要統監幕下に此人物ありや否

▲統監　政治も更に門戸開放の必要なきか余り型に箝まり過ぎては總て活氣を失ふ也

▲今回　斷行さるゝと噂ある官紀振肅序でに幕僚を一新して局面展開を試ては如何か

▲或人　曰く鶴原君は兎に角豪らかりしど然り彼には策もあり多少膽力も意氣もあ

▲露國　の國債は九十億餘留明年支拂ひの利子三億九百餘万留と兎に角其臺所は大軋

▲而も　此上海軍大擴張を計畫しつゝあり露國は流石何事も大國的他山の石たる價有

▲韓國　經營の如き少しく眼界を大にすれば易々たる耳乾坤一擲雄大の方針を取れよ

▲帝國　の韓國經營に就て列國皆承認す此際に於て帝國は何事の施設かならざるなし

▲英米　シンジゲートは錦齊鐵道を布設して南滿鐵道と競爭せんと果して實現するか

▲之が　實現するとせば將來南滿線の大敵たらむ南滿鐵道は今に於て緊揮一番を要す

▲滿洲　に於ける日貨排斥は錫良總督の制抑により益々排貨熱盛なりとは妙な現象也

▲世の　中は裏には裏あり滿洲排貨熱の如き割て見れて乙な所に御本体潜座在はさん

東京電報

▲小川大將の危篤　……なりし小川……更に腹膜炎を併發し危篤に瀕せり（廿日發）

●虎疫流行地指定解除　……韓國をコレラ病流行地とする指定を解除……に於ては去る十三日以來其他に於ては十六日中指定解除の運びに至るべしと云ふ

……者に對しては各地居留民長の證明書攜帶せ……

●南夫人の追悼會　十八日午後三時より……ン夫人ミンビ夫人の追悼會を開きたるが來……敎法等約七百五十名にして一同着……

▲京原方吉氏は十九日入京京原金旅館へ投宿す



相談の相談

（何でも御相談に應じ升）

◎問 水道會社の給水契約申込書に依れば過つて給水器を破損し其れを會社へ通知することを忘れるか又は破損したことに氣が付かずに居た場合の損害賠償高を支配人の云ひなり次第に任せる事にしてあるから不當の請求に對しても頭は上らぬ既に過失と云ふ以上有る可きものである、又第七項に需用者は時々會社より發する諸規則を遵守せらるべしとあれど契約上の權利に妨なき限りはと云ふ條件を入れて置かねど之からドンナ不利益な事があつても抗議が出來ないことになる、自分は一ケ月一圓五十錢の需用者であるから申込條項に文句云つて見た所で跳ね付けられるに極つて居る跳つけられて赤面するより又は腹を立てるより世間就中當局者は一般居留民の爲め此所に氣が付いて居るか何うか及び記者君の考へを伺ひたいと（中村鬼頭）

◎答 一般居留民は無論心注いて居ることゝ思ひますが居留民諸君は君と同じ樣な考へから申し出さぬのだと思ふ、當局者は或は氣が注て居らぬのぢやあるまいか、兎に角契約當時考慮が足らなかつたのは事實である、が夫れは今言ふ折でないとして僕は貴下の心配に贊成して當局者の發奮力を希望する（係）

◎古迫 借家の一人君に申上候、御申越しの通り京城に於て最も格高のものは借家賃に有之候御同感に御座候景氣不景氣に關係なく絕對に引き下げの必要可有之候況んや此の不景氣に於てをや、に候併し同盟とか何んとかは不穩當にて却つて反感を挑發するの嫌ひなしとせず候、要するに事情を具して家主の反省を求むるを得策と愚考致候、御申越に依れば古迫君にも引き下げの意ありとの事なれば猶更に御座候、敢て古迫君に申上候、傳へらるゝが如く其の意を有せらるゝならば他家主に氣兼を致さるゝには及ばずと存じ候（係）

●仁川の酌婦取締勵行

▲無鑑の太夫十一名

仁川の飲食店酌婦は概ね親權者の承諾證なくして醜業を働くもの多きより仁川署に於ては曩に各飲食店營業者に對し右承諾證なき酌婦は斷然解雇すべき旨嚴達したるにぞ營業者の恐慌は何に譬へつべくもあらずあらゆる魂膽を巡らして右承諾證を得る事に努めつゝありしが一昨日仁川署は突如各飲食店に就て取調べし結果左記の十一名は承諾證なかりし爲め近日中解雇すべく更らに嚴命したりと云ふ

初音亭一名、一二三亭一、宮城野一、七福一、二見一、都二、筑後亭一、耶馬溪二名、

其他犯入後三日以內に屆出でを怠りしものは和田しく、長濱とま、瓜生はる

●小泥棒の大縮尻

京城金剛統戶不詳命泰生は一昨十九日午后七時四十分頃明治町三丁目一〇九番戶建築請負業小川重太郎方に於て若草町二丁目三十三番戶大工職小善賢之助が手提鞄一箇を同家入口に置き要談中の隙を窺ひ手早く掻攫ひ逃走せんとする所を南部署警官に逮捕せられ現行犯として主任警部に引渡したり

●竊盜犯人の就縛

原籍宮崎縣北諸方郡下長飯村六百三十五番地平民當時龍山京町東通り小林源八方居留大工職東末吉（三一）は去十八日竊盜現行犯として西部署に逮捕せられ留置處分の上原籍地へ身元照會中

●重罪犯人の檢擧

昨日韓人尹致權なる者官印文書僞造詐欺取財の罪名の下に西部警察署に檢擧せられ松田警部主任となり目下嚴重取調中なるが尙一昨十九日原浪平横領罪を以て同署に拘引せられたるが詳細は未だ發表するを得ざれば次號に讓る

●玉突熱の大流行

仁川に於ける玉突熱は各會社を通じて普及流行しつゝあるが數日前仁川俱樂部にて秋季大競技會を催ふせし結果一等は稅關の野中氏二等は堀力太郎氏三等は長谷川氏當選せりと云ふ

●洋服を食へた男

仁川花町一丁目花の家事山口ツチ方に一昨日午後十一時頃舟乘体の男來り飲食を爲したる後代金も支拂はず洋服及外套入の風呂敷包みを傍に置きたる儘屋外に飛出せしかば其旨仁川署に屆出でたりと

●遊興を強て說諭

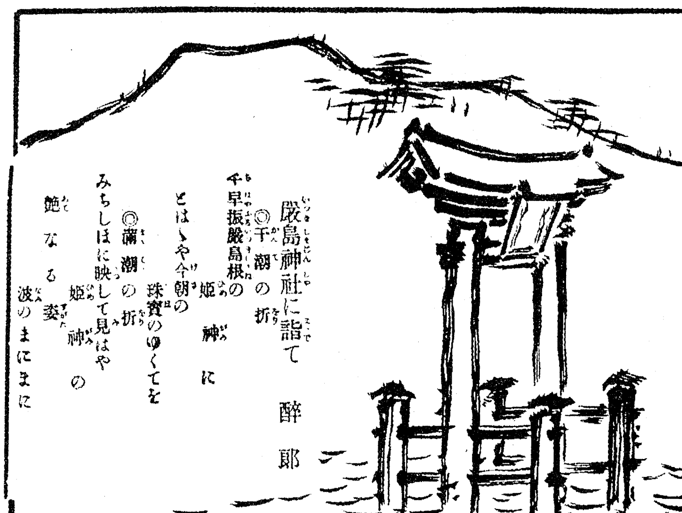
仁川宮町二丁目一二三亭の酌婦山下ツキ（十九）は一昨十九日の夜八時頃通行人の袖を牽きたる現行犯を警官に見咎められ大目玉を頂戴す

●一昨夜の新町

遊廓の色餓鬼は總計七十九人にて消費額四百〇一圓九十七錢なり

演藝

▲●●●●●福井茂兵衞出發 壽座開場式に乘込むべき福井茂兵衞一座は愈々本日大阪を出發したれば明後日當地着の上稽古に取替り二十五日頃初日開演の筈尙ほ初日藝題は既報の通り「丸橋忠彌」と「ヴエニスの商人」なり▲●●●●歌舞伎座 聲色及び鳴物入り活動寫眞は二十三日初日と決定せり▲●●●●新演劇の名譽 昨二十一日は韓國皇儲の第十五回御誕辰に相當するより東京麻布鳥居阪の御用邸に於て御祝賀を擧げさせ給ふ由なるが我東宮殿下には當日御祝の爲め御訪問あるべく餘興としては演劇を臺覽に供する事となり誰彼と俳優の撰擇ありたるが演劇新派の伊井蓉峰、藤澤淺次郎、川上音二郎等其の撰に當り右の面々へ御內命ありたれば一同は恐懼措く能はず伊井は一同を代表して謹んで御受け申上げたりといふが斯る貴顯の御前に於て演劇を催したるは去る二十年四月鳥居阪の井上侯邸にて故團、菊、左、芝翫等の舊派第一流の名優が其の技を天覽に供したる以來絕えて例なき事なればこれ等新派俳優等は身に餘れる面目なり且つ新演劇の爲めに此上なき光榮なりとて狂言等も充分選擇し曩に有樂座に於て高評を博せる「空中飛行機」一幕は伊井、村田之れを受持ち又川上が全盛時代に屢々演じて世上に喧傳せる「楠公櫻井の訣別」一幕は川上藤澤之を承はり外一座總出にて淸新なる喜劇を出すべしと尙は高田、河合、喜多村等の之に加はらざるは京都巡業中なるを以て也



嚴島神社に詣て　醉郎

◎干潮の折

千早振嚴島根の姬神にとはゝや今朝の珠寶のゆくてを

◎滿潮の折

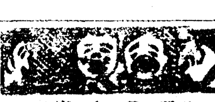
みちしほに映して見はや姬神の艶なる姿波のまにまに

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

十月廿一日●舊九月八日●一白佛滅甲寅さん△一白●厄運の日なり取引賣買に付き間違起り易し△二黑●不如意の日なれど新事見合すべし殊に談判相談婚姻等凶△三●碧 溜達の日旅行開店業婚姻等に吉△四●綠 順進の日なり結婚入學門談判相談等に宜し△五●黃 不振衰運たり改易創始の事効なし紛爭盜賊を防ぐべし△六●白 不意の收利又は便宜を得る事あり其外不穩△七●赤 利益を得るか好報を耳にすることあり但し子孫使用人の身上に留意すべし△八●白 窮厄たり飢餓應滯多し盜害遺失畏るべし△九●紫 不如意にして且つ不得要領に終る日なり新事見合の事農林の事には宜し

右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し



▲平民文庫◀

▲去る十六日の夜も早や更けた丑滿時新町南山樓前の夜臺店の前へ人目を忍んで立ち寄つた二人の男と三人の女があつた△と見て取つた風閒子は更けたとは云へ花柳巷の欄間渡る灯影の明きを避けて當の敵の爲めん樣をぞ窺ひたる△とは知らぬ彼方の五人は何にやら囁り交はしつゝ一錢五厘の安うどんを揃ひも揃うて五杯宛を爽げ盡して未だ何やら物足らぬ氣△金額は僅かに一人宛七錢五厘ながら五杯と云へば擔夫でもモウ澤山と腹鼓打ち鳴らすべきを伊達を生命の廓の女としてさりとは愛想の盡きた大食△想ふに仲居か飯焚が權助三助に伴れられての立ち食ひならん、然り乍ら後學の爲めだ面の格好見覺へて置けば何かの足になるべしと瞳を定めて能く見れば豈計らんや誰れあらう此れこそは當廓內は大桝屋にさるものありと知られたる貞子太夫に白糸太夫外の一人は仲居の某ところは見られたり△七錢五厘のいゝいゝざん花魁、ナント豎へがあらうがナ（風閒子）▲擲運はうるさいけれど便利だわ其の代りお金が費る若い人が一寸した物まで持たしてはいけない（花）▲曙町に出齒龜現はる昨夜も午後七時頃曙町明治湯入口側の板塀の內に格子戶より女湯を夢中に成つて覗いて居た年頃廿四五の飛白の羽織にホームク帽を冠りし丸顏の男よ自今反省せぬと姓名を素破拔くぞ入浴の御婦人方及明治湯に注進する、記者さん私は若い妻を持つて居升から心配で堪りません覗く奴の反省する樣出して下さい、小僧君笑ふ可らず（見多遣）▲決して笑はん此れ此の通り眞面目なもんさ（小僧）▲風閒子さまへ指春樓の關東豚は平民文庫の記事を見て非常に喜んで居ましたよ（申上女）▲左樣でしたか夫れなら貴女から其の關東豚さまに何う致しましてと御傳へ下さい（風閒子）▲玉突屋へ行つて見ると立派な紳士が手を動かし足を擧げ甚だしきは「キュー」を振り回し臺を押しなどして勝負を焦つて居る見苦しい事だ玉は一旦突き放したが最後最早如何ともする能はざるものではないか夫れに何たる未練なことであらう（春部）▲待合春日の前から明治町に拔ける處の溝の板張が破れて居るが夜は危險だ（通行人）▲ぼちぼち鐵砲打が徘徊し樣になつた可愛さうに罪のない小鳥が喜々として樂しんで居るのをヅドンと殺して仕舞ふのである思ひやりのある者に出來た事でない（はの字）▲照義門通りの入口の溝が過日より壞れて居るが未だに修繕しない正直に右側を歩行けば溝に飛び込むことになるオイ何うか爲て呉れ（一車夫）▲僕も同感だ（小僧）

天氣豫報

（自二十日午後六時 至廿一日午後六時）

晴れ後曇

十九日（華氏） 最高溫度 六一、三 最低溫度 四九、五

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金四十錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月金拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行金五十錢▲特別……
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社